

661 有終ゆうしゆうの美びを飾かざる

物事ものごとをやり通とおして、最後さいごに立派りっぱな成果せいこを上げあげて終おわる。

662 勇断ゆうだんを下くだす

勇気ゆうきを出だして決断けつだんする。

663 油断ゆだんも隙すきもない

少しすこも油断ゆだんできない。

664 指折ゆびおり数かずえる

一日いちにち一日いちにちを数かずえながら、その日ひが来くるのを待まち遠とほしく思おもう。

665 指ゆびをくわえる

うらやましくおもっているのに、手てを出だすことができな

666 弓折ゆみおれ矢や尽つきる

持もてる力ちからのすべてを出だし切きって戦たたかい敗やぶれ、それ以上いじょうどうにもならない。

667 湯水ゆみずのようように使つかう

お金かねをおしみなく浪費ろうひする。

668 弓ゆみを引ひく

背そむき逆さからう。

669 夢ゆめのまた夢ゆめ

夢ゆめの中なかで見みる夢ゆめのようように、とてもはかないこと。実現じつげんしそ

670 夢枕ゆめまくらに立たつ

夢ゆめの中なかに神仏しんぶつや個人こじんが現あわれて、物事ものごとを告つげる。

671 用ようが足たりる

必要ひつようにして十分じゅうぶんである

672 洋ようの東西とうざいを問とわず

世界せかい中ちゆうどこでも。

673 要領ようりようがいい

①手際てざわが良よい②立たち回まわりがうまく人ひとに取り入とるのがうま

674 要領ようりようを得えない

肝心かんしんなことが何なんなのかはつきりしない。

675 欲よくに目眩めくらむ

欲望よくぼうのせいせいで正ただしい判断はんだんができなくなる。

676 横車よこぐるまを押おす

道理どうりに合あわないことを、力ちからづくで押おし通とおす。

677 横よこの物ものを縦たてにもしない

めんどうくさがつて、何なにもしない。

678 横槍よこやりを入いれる

関係かんけいのない人ひとが横よこから口出くちだしして話はなしや行こう動どうを妨さまたげる。

679 四よつに組くむ

正しょう面めんから堂々どうどうと相あ手てにぶつかる。

680 余念よねんがない

他ほかのことに気きを散ちらさずずに、一ひとつのことに集しゆっ中ちゆうする。